

# 大川市内の公共建築物等における木材利用の促進に関する方針

平成24年12月28日

## 第1 趣旨

本方針は、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づく国・県の方針に即し、健全な森林の育成、循環型社会の構築や地球環境の保全、林業・木材産業の振興に資するため、大川市内の公共建築物等における木材の利用の促進を図るものである。

## 第2 基本的事項

### 1 木材の利用を促進する公共建築物

本方針における公共建築物とは、広く市民の利用に供される公共性の高い建築物（公共団体以外のもので整備するものも含む。）であり、例えば下記のような建築物が該当する。

#### （1）市が整備するもの

学校、社会福祉施設（老人ホーム、保育所等）、運動施設（体育館、プール等）、社会教育施設（図書館、公民館等）、公営住宅等の建築物のほか、本市の事務・事業に供される建築物が該当する。

#### （2）市以外の者が整備するもの

文化・福祉の向上に資するなど公共性が高いと認められる学校、社会福祉施設（老人ホーム、保育所、福祉ホーム等）、病院・診療所が該当する。

### 2 木材利用の具体的方向

公共建築物の整備等を行うものは、以下のとおり積極的な木材の利用に努めるものとする。なお、木材の利用に当たっては、県産木材及び合法木材の積極的な使用に努めることとする。

#### （1）公共建築物の整備

公共建築物を整備するものは、この方針に沿って建築基準法、その他の法令に基づく基準により木造化することが困難な場合を除き、木造化を図るものとし、木造化が困難な場合にあっても、内装等の木質化に努めるものとする。

#### （2）その他

公共工事における工事用資材や公共建築物において使用される家具、建具、備品、消耗品についても、木材または木材を原材料としたものの利用に努める。また、暖房器具やボイラーを設置する場合は、木質バイオマス由来の燃料を使用するものの導入に努めるものとする。

「木造化」とは、建築物の新築、増築または改築にあたり、構造耐力上主要な部分に木材を利用することをいう。

「県産木材」とは、福岡県内で育成、伐採された木材をいう。

「合法木材」とは、各国の森林関係の法令に基づき、合法的に伐採された木材をいう。

「内装等の木質化」とは、建築物の新築、増築、改築にあたり、室内に面する部分及び屋外に面する部分に木材を利用することをいう。

### 第3 市が整備する公共建築物等における木材の利用の目標

#### 1 公共建築物の木造・木質化の推進

原則として、すべての低層の公共物について木造化を図るとともに、高層・低層にかかわらず、市民の目に触れる機会が多いと考えられる部分を中心に、全ての内装等の木質化を図る。

#### 2 その他

公共建築物の公共工事において使用される工事用資材、公共建築物において使用される家具、建具、備品、消耗品について、木材または木材を原材料として使用したものが供給される場合には、原則として全てこれらの利用を図る。また、暖房器具やボイラー等を新設または更新する場合、原則として全て木質バイオマスを燃料とするものを導入する。

### 第4 その他、公共建築物等における木材の利用の促進に必要な事項

#### 1 コスト面での考慮

木材の利用に当たっては、建設コストの適正な管理を行うだけでなく、維持管理及び解体・廃棄等のコストを含むライフサイクルコストについても計画・設計等の段階から十分留意するものとする。

#### 2 整備体制に関する事項

大川市は、木材利用を円滑に推進するため、福岡県筑後農林事務所と密接な連携を図るものとする。